

平成 30 年度第 7 回公立大学法人公立諏訪東京理科大学理事会議事録

日 時 平成 30 年 11 月 28 日 (水) 10:30~11:25

場 所 6 号館 2 階第 1 会議室

出席者 唐澤理事長、河村副理事長、松江理事、入江理事、樋口理事、宮坂理事、河嶋監事、柴田監事、(牛山事務部次長、石黒総務課長、加藤教務・学生支援課長、堀向総務課係長)

欠席者 船木理事

[配付資料]

- 1 2018 年度決算報告書 (第 1 期第二四半期) (資料 1-1)
- 2 2018 年度財務諸表 (第 1 期第二四半期) (資料 1-2)
- 3 2018 年度第二四半期 決算関係の資料について (資料 2)
- 4 平成 30 年度監事監査 (業務監査) 結果報告 (資料 3)
- 5 平成 30 年度奨学金等採用実績 (資料 4)
- 6 高等教育無償化 (高等教育段階の教育費負担軽減新制度) に関する機関要件等への対応について (資料 5)
- 7 公立大学法人公立諏訪東京理科大学と公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学との大学間連携に関する協定書 (案) (資料 6)
- 8 推薦枠別志願者数 (資料 7)
- 9 「国公立大学 by AERA 2019」 (資料番号なし)
- 10 公立諏訪理科通信「SUS TIMES」 (資料番号なし)

[議 事]

1 理事長挨拶

唐澤理事長から、審議に先立ち挨拶があった。

2 会議内容

(1) 2018 年度第二四半期 決算書、財務諸表について

牛山事務部次長から資料 1 及び資料 2 をもとに、第二四半期の財務状況について説明があり、主な収入については運営費交付金の一部、授業料、研究助成金等であること、支出について、研究費は例年、前期よりも後期に支出が増加する傾向にあり今年度も同じような傾向であること、その他各部門の支出状況についても順調であること等報告があった。

(2) 監事監査結果報告について

唐澤理事長から資料3をもとに、11月13日に実施された監事監査について、書面及び実地監査を行ったところ、指摘事項はなかったとの報告があった。

(3) 2018年度奨学金及び授業料減免制度実績について

牛山事務部次長から資料4をもとに、給付型奨学金として、優秀学生奨学金に42名、海外インターンシップ参加者等が対象となる海外研修支援奨学金に23名が採用されたとの報告があった。また、経済的理由による授業料納付困難者に対する授業料減免制度に60名、家計急変者に対する授業料減免に1名が対象となったことが報告された。

また、これに対して、海外インターンシップ参加者へのアフターフォローはどのようになっているかとの質問があり、参加者にはレポート提出、報告会への参加を義務付けているとの説明があった。

(4) 高等教育無償化に関する機関要件等への対応について

加藤教務・学生支援課長から資料5をもとに、政府で実施を検討している高等教育無償化の支援対象となる4つの要件のうち、各理事の役割の明確化、シラバスの修正、財務諸表等の開示等を行うことで全要件を満たすことが可能であること、本学独自の奨学金制度との整合性を取っていく必要があること等報告があった。

これについて唐澤理事長から理事の役割の明確化については、次回の理事会にて審議することとしたいとの発言があった。

なお、無償化の実施について国からの支援はあるのか、また給付はどのように行われるのかとの質問があり、実施については国の負担で行われ、授業料減免分の費用が大学に交付されることとなるが、その交付方法については未確定であること等説明があった。

(5) その他

① 公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学との大学間連携協定の締結について

唐澤理事長から資料6をもとに、本学と同様に学校法人東京理科大学から公立法人化した公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学と連携協定の締結を検討していること、正式に締結する場合には理事会にて改めて報告すること等、報告があった。

② 推薦入学試験志願状況について

加藤教務・学生支援課長から資料7をもとに、11月23日に行われた推薦入学試験の志願状況について、各学科募集人員46名のところ、情報応用工学科は98名、機械電気工学科は41名の志願があったこと、今回より国公立大学の併願はできないことから、本学への志願度は高いこと等報告があった。

これに対して、諏訪地域、長野県内の募集枠に対して出願が少ないことから、今後積極

的に広報を行っていききたいとの説明があった。

③ 「国公立大学 by AERA 2019」への掲載について

加藤教務・学生支援課長から資料をもとに、標記冊子に本学の特集記事が掲載されたこと、次年度についても掲載の案内を受けているので、掲載予定であること等報告があった。

④ 公立諏訪理科通信「SUS TIMES」発行について

石黒総務課長から資料をもとに、標記の件について、法人としての情報を掲載する情報誌として作成したこと、次号では本学の地域貢献について掲載予定であること、諏訪6市町村の議員をはじめ、諏訪地域の関係各所に配布を行う予定であること等報告があった。

⑤ 「大学ブランド・イメージ調査」結果について

石黒総務課長から資料をもとに、日経BPコンサルティングが実施している標記調査において、「学長・教授陣に魅力がある」大学として、甲信越地域で本学が信州大学と並び1位であったことが報告された。

⑥ 甲府工業高校との高大連携協定締結について

樋口理事から、甲府工業高校との高大連携協定を締結について伺いたいとの質問があり、河村副理事長から長野県内の工業高校との連携協定はこれまでも進めており、甲府工業高校とも同様に連携を行うこと等報告があった。

以上